

# 市民ネットワーク千葉県

2015年7月  
83号

## 沖縄を知ることが平和な未来へつながる

### 辺野古を許せば地方自治はつぶされる!

佐倉市議会議員 大野ひろみ

ジュゴンが生息する美しい海、沖縄の辺野古に巨大軍港を建設する計画が急ピッチで進められています。国内の米軍基地の74%が集中する沖縄に、更に犠牲を強いるこの計画に反対する大規模な沖縄県民大会が、5月17日、那覇市で開かれ、市民ネットワーク千葉県から6人が参加しました。

#### 辺野古移転ではなく、新基地造り

政府は、「世界一危険な普天間基地を辺野古に移転するのだ」と、「移設」を強調し正当化していますが、実は辺野古での基地建設は1965年から計画されていました。つまり、単なる普天間基地からの移転ではなく、全く新しい機能を備えた巨大軍港を辺野古に造るとというのが真相です。

沖縄県民は、昨年の名護市長選挙、沖縄県知事選挙、衆議院選挙の全てで、「辺野古基地NO」の意思を示してきました。しかし、安倍首相は沖縄の民意より、日米関係を優先させる発言を繰り返しています。

#### 最大規模の県民大会

強烈な日差しの中、会場のスタジアムには3万5000人が集結。稲嶺名護市長らが次々とステージに登壇し、「これ以上沖縄に犠牲を強いるな」「武力を伴わない平和が一番!」などと、熱く語りかけました。作家の佐藤優氏は母親が沖縄出身。「お前は日本人か沖縄人かと聞かれたら、躊躇なく、沖縄人だと答えます!」と発言し、万雷の拍手を浴びました。

クライマックスはやはり翁長知事。「県知事としてあらゆる権限を使い、辺野古に新基地を造らせはしません」と力強く発言。沖縄の民意を封殺する安倍政権に対し、「自国

民に自由と人権、民主主義を保障できない国が、世界の国々とその価値観を共有できるのか」と痛烈に批判しました。

#### 辺野古へ! ゲート前とテント村



キャンプシュワブ前のテントで抗議行動

翌日、私たちは辺野古へ。まず、キャンプシュワブ(米海兵隊基地)のゲート前で、抗議の座り込みに参加。全国各地からやってきた参加者が、連日、メッセージボードを掲げたり、マイクで「基地撤廃」を訴えています。

次に、新基地建設で埋め立てられる大浦湾のテント村へ移動。ここでの抗議の座り込みは、既に1年以上

続いています。目の前はエメラルドグリーンに輝く美しい海。しかし、本来は米軍基地内の沿岸から50メートルだった「常時立ち入り禁止区域」は、現在2キロまで拡大され、基地建設のための海底ボーリング調査が行われており、サンゴ礁やジュゴンのえさ場など、環境破壊が進んでいます。

#### 伊波洋一さんの指摘に身が凍る

最後に、普天間基地のある宜野湾市に元市長の伊波洋一さんを訪ね、日米安保体制の最新情報を伺いました。

「米国が一番恐れているのが今や世界一の経済力を誇る中国。真正面



元宜野湾市長の伊波洋一さん

から戦いたくない米国は、沖縄を含む南西諸島での日中限定戦争を想定している。沖縄が再び捨て石にされようとしている。これを防ぐためには「尖閣問題」を乗り越えて、日中友好関係をしっかりと作る事が重要」との指摘に、背筋が凍ると共に、一筋の光を見出しました。やはり、武力に頼らない外交努力でしか平和は作れません。

#### 危うし! 地方自治

民意を代表して辺野古基地阻止を訴える翁長知事に対し、安倍政権は沖縄振興予算削減という報復手段に出ました。これは、政府自らが「地方自治」を否定していることになり、気に入らない者は力でねじ伏せて行く中央集権・強権政治の復活と言えます。

辺野古の問題は沖縄だけでなく、全国自治体の「自治」にも深く関わっています。辺野古基地を許せば、千葉県や関東各地でのオスプレイ常駐など、政府のやりたい放題になるでしょう。

市民ネットワークでは、「平和」と「地方自治」を守るため、今後もしも沖縄情報を発信していきます。

# 放射性廃棄物処分場に!!

放射性廃棄物の最終処分場候補地として千葉県中央区蘇我地区の千葉火力発電所敷地内が急浮上。まさか政令市である千葉市を選定するとは！と、戸惑いと危機感が周辺住民に広がっています。

## 民有地は千葉県だけ！

フクシマ事故以降、新たに出来た特別措置法により、放射能濃度8000ベクレル以上の指定廃棄物は、宮城・茨城・栃木・群馬・千葉のそれぞれの県ごとに作る最終処分場に保管することにされてしまいました。処分場を建設する自治体には総額50億円の地域振興交付金を用意すると国は発表していますが、候補地が決定した県はまだありません。

候補地を決めるための千葉県市町村会議は、昨年4月の第4回を最後に開催されていません。そんな状況で突然候補地として公表されたのが、千葉市中央区蘇我の東電敷地でした。「処分場は国有地に限らず民有地も含めて検討」という環境省方針がでたのは昨年4月ですが、実際に民有地が候補地となったのは、5つの県のなか千葉県が初めてです。市民は傍聴できない千葉県市町村会議の、今年になってようやく公開された議事録によれば、昨年1月（第3回）の会議で「民有地」の提案をしたのは、なんと森田知事だったことがわかっています。

## 放射性廃棄物は県内に5200トン？ 候補地は県内に5000箇所？

下水道汚泥や一般ゴミ、剪定枝などの焼却灰のうち放射能濃度

今回5200トンに！  
なぜ1500トンも増えた？



(2014年末)

## 福島原発事故で出た放射性廃棄物

	種類	区分	放射性セシウム濃度	量
千葉県	指定廃棄物	上下水道の汚泥、一般廃棄物の焼却灰	8000~10万ベクレル/kg	3700トン
	一般廃棄物	通常のゴミとして各自治体で処分	8000ベクレル/kg未満	3か所(君津・富津・銚子)の処分場に20万6241トン
福島県	対策地域内廃棄物	警戒区域および計画的避難区域で発生	上限なし	

8000ベクレル以上の指定廃棄物は、昨年末の時点で3700トンと聞いていたのに、今回は5200トンと一気に1500トンも増えていきます。しかし、増えた量についての詳しい説明はありません。

また、県内5000箇所の候補地から選んだ千葉市内の2箇所のうち、よりリスクの少ないほうが候補地となったとのことですが、もう一箇所がどこだったのかということも明らかにされていません。

## 埋立地・蘇我は果たして適地か？

### ◆液状化

候補地は埋立地です。「千葉市液状化危険度予測マップ」によれば、東京湾北部地震でも千葉市直下地震でも《液状化の危険性が高い》とされている地域。東日本大震災で大きな被害がでた千葉市美浜区と危険度

は同じです。

### ◆津波

東京湾内の津波の高さ予測は3m以下。4mの盛土をするので波は処分場に乗り上げないとの説明がされていますが、満潮時や台風などの高波と重なった場合、波の高さは4mを超えると言われていました。また、盛土の不安定さはまさに不安の種です。

### ◆巨大タンクや工場群

蘇我地区周辺は国内最大級の石油コンビナート地帯です。2011年3月の地震では石油会社のLPGタ

ンクが倒壊し、火災と爆発が発生。鎮火まで10日もかかった事故は、記憶に新しいところ。このような現場の近くに放射性廃棄物の貯蔵施設がもしあったら、放射能漏れは必ずです。また、この事故は地盤のゆるさも示しています。

### ◆東京湾

湾内はノリやアサリの養殖をはじめ、たくさん漁業者の活動の舞台です。「処分場があるというだけで消費者が離れることが怖い」と県漁協は反対しています。ひとたび事故が起これば、東京湾全体に汚染が広



- ①奥の小高くなっている所が放射性廃棄物処分場の予定地
- ②5月26日 蘇我地区で行われた市民集会には280人が参加。プラカードで反対の意思を示した。
- ③環境省職員が千葉市議会に説明に来た。市民の議会傍聴ができなかったため、市役所玄関前で訴えた。
- ④一人でも多くの市民にこの問題を知ってもらいたい
- ⑤政策カーに看板を付けて、市民にアピール

### ◆周辺の集客施設

付近には大規模ショッピング施設やフクダ電子アリーナなどの集客施設があります。千葉市は海辺を活用した魅力ある街づくりを進めていますが、そのような地域が放射性廃棄物の最終処分場として適当なのでしょうか？



蘇我処分場候補地地図

### ◆今いっしょをあげよう！

放射能の問題は将来世代に負の遺産を残すものです。子どもを持つ若い世代から「今までは原発の問題を自分のこととして考えていなかったけど、子どものことを考えると、、、」と、不安な声が市民ネットに多く寄せられています。

「市民ネットワークちば」は、千葉市長に対して4月21日に次の5つの申し入れを行いました。

- ・全ての情報を市民に公開すること
- ・選定のプロセスや基準の説明
- ・周辺だけでなく市民全体への説明
- ・問題点をより理解できる機会(フォーラムなど)の提供

・拙速な判断は行わないこと  
市民の代表である議会への説明が、全員協議会という市民に非公開の場で行われていることも大きな問題です。5月30日の市民ネットワークち

# なぜ千葉市が

ばの総会では、反対の緊急アピールを採択しました。

また、《蘇我地区が処分場に選定されたことを知っているか？放射性廃棄物を千葉市で受け入れることに賛成か？》という内容のアンケート調査も行っています。一人でも多くの市民にこのことを知ってもらいたいと始めたアンケートですが、回答を寄せる市民が多く、関心の強さを示しています。

さらに「放射性廃棄物最終処分場に反対する市民の会」と一緒に、学習会を行ったり、10万人を目標とする署名活動を行っています。

蘇我地区に隣接する市原市でも不安の声が広がっています。「いちはら市民ネットワーク」は号外を配布して市民に情報を提供するなど、活発な活動を行っています。

そもそも放射性ゴミを発生させたのは、国や東電です。にもかかわらず、自治体にゴミ処理の責任を押し付け、放射能汚染を拡散し住民生活を脅かすのは、国の責任放棄です。このような事態となるのは、国の特別措置法があるからです。法律を抜本的に見直すよう、他団体と連携し、大きく声をあげていきます。

## 県議会

### 選挙でどうかが変わった？

### 変わらない！

#### 新人議員

新人議員は、95人のうち21人(うち元職2人)。自民9人、民主5人、公明と共産が各2人、その他3人。世代交代も少しずつ見られる。

#### 女性議員

改選前の7人から9人に微増。しかし、最大会派の自民党は候補者段階から女性ゼロ。安倍政権が掲げる「女性が輝く社会」は口先だけか？

#### 無投票選挙区

18選挙区(30市区町村)で24人が不戦勝。前回選挙でも19選挙区(30市区町村)25人が不戦勝。一区や二区で無投票が多く、そ

のほとんどが自民党議員。有権者508万人のうち無投票区102万人が権利を奪われたことになる。

#### 一票の格差

1票の価値が最も高いのは、議員1人当たりの人口が3万5005人の銚子選挙区。これに対し、印西市選挙区では議員1人当たりの人口は8万8176人で、格差は最大の2.51倍。他に格差2倍以上は13選挙区あった。

#### 最大会派

定員95人中54人が自民党、議会全体の7割を占める。議長・副議長、各常任委員会の正・副委員長

ポストを独占し、既得権益を謳歌。最大会派の壁は厚く、議会改革も進まない。

#### シンヤム

会派「市民ネット・社民・無所属」の略称。改選前と同様、女性3人・男性1人で構成。議席が縦一列配置から一部横並びに少しかけ変更。少数会派のため、代表質問が年2回しかできないが、ここよりも多く発言している。

県議会では、「一票の格差是正」に向けて、選挙区や定数の見直しなど議会改革をリードし、これからもパワー全開で活動していきます。

投票率は全国最低の37.01%



## 吉川ひろしさんの華麗なる転身

### 県議から村議へ

元千葉県議で、市民ネットの県議と会派を組んでいた吉川ひろしさん。今年4月、東京都檜原村の村議選に挑戦し、見事初当選。柏市議→千葉県議→檜原村議と前人未到の進化を遂げる吉川さんにインタビューしました。

Q. なぜに檜原村？

A. 「村」こそ自治の原点。私の先祖の地である檜原村に住むことに決め、暮らしと政治は一体であるので、あまり深く考えずに立候補した。

Q. 檜原村ってどんなところ？

A. 人口2400人弱で、その内200人が老人ホームに入所。どの家も鍵はかけてなく、訪ねると90歳前後のお年寄りがコタツから出て、正座して話を聞いてくれる。秋川渓谷と山々に囲まれた村なので、山の頂上の一軒家を訪ねたときは、崖から車ごと落ちそうになった。

Q. 選挙戦はどうでした？

A. 地縁、血縁で勝敗が決まる。勝敗ラインは100票。私の祖父、祖母、遠い親戚など血縁だ

よりに村を歩いた。他の候補者からは「100年前の血縁を持ち出されてもな」と渋い顔をされた。ある時、訪ねた家でお茶とイモを出してくれた。その後、直ぐに親戚のおばさんから電話があり、「○○さんの所でお茶ご馳走になり、イモ2つ出されたけど、遠慮して一つしか食べなかつたんだべ？」と言われた。インターネットより速い情報網には恐れ入った。

Q. 檜原村議会の様子を教えてください。

A. 議員は9人で、村長派は8人。何だかわからない部外者(吉川)が1人。委員会は総務5人と産業建設4人の2つだけ。定例会は初日、委員会、最終日の3日で終わり。全員協議会で説明を受けた人事議案は「本会議で質疑しない」という議連の申し合わせがある。常任委員会や議連、全協の記録はほとんどない。議会事務局は局長と係長の2人だけ。係長が委員会の数行のメモを保存しているが、鉛筆書き。交付税が公布税と書かれ

Q. 傍聴規則などは？

A. 高齢化率が46%なのに、「傍聴人は杖を禁止」と書いてある。

Q. 最近のトピックは？

A. 選挙後に、ある議員が「今度、総合公社を村長が作る！」と嬉しそうに言っていた。「総合公社ってなに？」って聞いたら「それはよくわからない...」ってわからなくても喜んでる。

Q. それで、総合公社は何かかわかったのですか？

A. 「コンビニを呼ぶための窓口のようなもの。でも、家賃無料なのに入ってくるコンビニがない...」

Q. 多趣味な吉川さんが今はまっていることはありますか？

A. 親戚の畑で茶摘みをして、製茶をやっている。檜原村は標高が高いので害虫がいらないから無農薬。

Q. 最後に何か一言...

A. 自然に恵まれた檜原村に是非遊びに来てください。



「檜原村で自家製茶をいただきます」と吉川さん

檜原村豆知識 ● 山梨県、神奈川県に接する東京都唯一(島を除く)の村。人口約2400人。面積105km<sup>2</sup>。倉市とほぼ同じ。山間部なので昔は林業が盛んだった。現在は豊富な自然を利用し、キャンプや釣り、温泉などの観光業も行われている。

# 市原市議会議員選挙結果

2期目 小沢みか 新人 森山かおる  
当選 4809票 当選 3395票



山本友子 (市原市選出) 入江晶子 (佐倉市選出)

今年の担当は、文教常任委員会(山本)、環境生活警察常任委員会(入江)です。

# びっくり 県政だより

## 「問答無用」の県議会に異議あり!

### 国への意見書提出をめぐる攻防

長く厳しい選挙戦を終え、再びの議場で周りを見回すと、変わり映えのしない景色が…。男性ばかり・自民党ばかりの千葉県議会で、早速、「事件」は起きました。

#### ●「戦争法案」にNO!

改選後の臨時県議会が開かれたのは、5月15日。折しもこの日は、午前中に安倍首相が「戦争法案」ともいふべき安保法制関連法案を国会に上程するというタイミングでした。私たち市民ネットワークでは、昨年7月の「集团的自衛権行使容認」閣議決定以来の政府の暴

挙に強く抗議するため、臨時議会で「意見書案」を提出すべく準備してまいりました。臨時議会における意見書の提出は、慣例により「緊急性」が問われます。本会議に先立ち開かれた議会運営委員会では、同趣旨で出された共産党会派の意見書を含め、緊急性について議論されました。

#### ●数の横暴にNO!

今国会の会期は6月24日まで。一方、6月県議会の閉会日は7月3日。従って、6月議会での意見書提出では間に合わず、急を要す

る事案であることは明らかです。自民党と無所属議員2人以外のすべての会派が「緊急性あり」と判断しました。一方、「緊急性なし」と表明した自民党の理由は、意味不明。「先の総選挙で安保法制改訂を公約に掲げてやってきたから」「具体的な法案審議はこれから国会で行われるので見守る」などの発言を繰

り返すばかり。最後は、意見書案提出に「反対」と自民党の数の力で門前払いされてしまいました。

#### ●物言わぬ県議会にNO!

この事態に対し、私たち会派では本会議で「ちょっと待った!」と進行動議をかけ、「緊急性あり」と発言。賛否はどうあれ、立憲主義、平和主義など国の根本姿勢が大きく改変されようとしている今、千葉県議会としての意思を当然示すべきです。国任せ・国頼みであれば、地方議会は要りません。少数会派であっても、多くの県民の思いや声を千葉県、そして国に届けていきたいと強く感じた臨時議会でした。

## ●市民れんらく帳●

- 原爆の絵展  
日 時：8月15日(土)・16日(日)  
会 場：船橋勤労市民センター展示室  
主 催：市民ネットワーク・ふなばし  
入場無料
- 講演会「安倍政権の暴走をくい止めよ!」  
講 師：古賀茂明さん(元経産省)  
日 時：10月24日(土) 14:00~16:00  
会 場：ホテルメイプルイン幕張(幕張本郷駅南口徒歩2分)  
参加費：500円(前売りチケットのみ)



お問い合わせ 市民ネットワーク千葉県 TEL 043-201-1051

# 柏市議会議員選挙 告示 投開票



新人 市民ネットワーク・かしわ 立候補予定者

## 林 さえこ

政治は「みんなが気持ちよく暮らすためのルールを決めること」だと思います。男の人、年配の人、お金持ちの人だけでなく、みんながルールづくりに参加することが大切。子育て層の声を市政につなげます。

## 報告 5/30-31

# 原発事故から4年

# 福島は今

全国の自治体議員が所属する「福島原発震災情報連絡センター」総会&スタディツアーで福島県いわき市、楢葉町、富岡町を訪問しました。センターでは事故直後から被災者の生活支援と県外の保養活動に取り組んでまいりました。

### まだまだ続く放射能の垂れ流し

現在、福島原発からは日量2億4千万ベクレルもの放射性物質が放出されています。また高濃度の汚染水が日量400トンも増え続け、海洋流出も止まりません。

毎日7千人の作業員が廃炉作業を行っています。毎時6000シーベルトも観測される過酷な環境下で、熟練労働者の離脱や労死死亡事故が多発しています。

### いわき・楢葉・富岡へ

3回目となるバスツアー。除染作業は進んでいても、原発20km圏内で帰還準備区域の楢葉町上茂岡公園では0.47μシーベルト、周りの山林は3μシーベルトもあると言われております。桜で有名な富岡町夜ノ森ではバスの中でも1μシーベルト以上。さすがに私は頭がクラクラしてきました。来年から富岡駅周辺では街を再建する計画がありますが、決



市民ネットワークの議員も全員所属している福島原発震災情報連絡センター総会

### 廃炉要員の育成

福島県内の学校では、文科省による廃炉要員の人材育成プロジェクトが始まっています。「福島県のことだから、僕達がやらなくてどうするの」が子ども達の合言葉。しかし、原発推進してきたのは国であり、福島原発の電気は首都圏で消費されています。原発事故は決して「福島県のこと」ではありません。さらに県内の学校では「放射能は安全」の教育がすすめられています。誤った教育で子どもたちを犠牲にしてはいけません。心に強く誓ったツアーとなりました。

佐倉市議会議員 伊藤こいつ